

207 地球映像資料館（その1）：100年前と変わらない日本（2023年10月31日）

以前に取り上げた画家[マチュラン・メウー](#)は、銀行家で篤志家のアルベール・カーンが設立した世界一周奨学金を受けて、日本に滞在しました。奨学金とは別に、アルベール・カーンは、20世紀初頭の世界を映像や写真に収めるために、[地球映像資料館](#)と名付けた壮大なプロジェクトを1912年に立ち上げました。10名程度の撮影技師が4から6名程度のチームを編成して世界各国を旅して、人々の生活や風景を撮影しました（後に1912年以前に撮影された映像や写真が追加。）。地球映像資料館は、オー＝ド＝セーヌ県立[アルベール・カーン美術館](#)が所蔵する69,000点にのぼる映像と写真のコレクションの約8割を占め、全てのコレクションは、同美術館のウェブサイトで閲覧することができます。今回は、地球映像資料館の中から、ロジェ・デュマ(1891-1972)が、1926年（大正15年/昭和元年）から1927年（昭和2年）の間に日本で撮影した写真をいくつか選んでご紹介します。

デュマが撮影した場所は数多く、一部を列挙するだけでも、東京、京都の清水寺、二条城や宇治平等院、奈良の法隆寺や東大寺、宮城県にある景勝地の松島、長野の善光寺や松本城、栃木の日光東照宮、群馬の伊香保温泉、神奈川の[箱根](#)、静岡県と山梨県に跨る富士山、愛知の名古屋城、三重県の伊勢神宮、香川の金刀比羅宮、広島県の厳島神社、岡山の後樂園、鹿児島島の桜島などがあります。デュマは、北海道を除いて北から南まで全国の幅広い地域を写真に収めました。

当時の写真を見ると、この100年の間に大きく様相が変化した場所がある一方で、100年前とほとんど姿を変えていないところもあります。それは、神社仏閣といった歴史遺産です。例えば、京都の清水寺の本堂が挙げられます（写真左が地球アーカイブの写真で、右は現在）。清水寺は、1994年にユネスコ世界文化遺産に登録された「古都京都の文化財」（京都市、宇治市、大津市）を構成する寺です。1633年に再建された本堂には、幅が約12メートルあるせり出した舞台



© Musée départemental Albert-Kahn, Département des Hauts-de-Seine
Kyôto, Japon, La terrasse du hondo du temple Kiyomizu-dera, A56628XS

パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

があります。本堂の高さは約18メートルありますので、この舞台から飛び降りるのは勇気が入ります。大きな決断をするときや、勇気を出して何か行動するときには、「清水の舞台から飛び降りる」という表現をします。ただし、当然ながら本当にこの舞台から飛び降りることは、禁止されています。

次に例に挙げるのは、長野県松本市にある松本城です。16世紀初めから築城が始まり、天守は16世紀末に建造されたのではないかと考えられています。下の写真に写る天守は、現存する五重六階の天守の中で最古のものです。大天守の中に入って見学することができます。上の階へ進むと面積が狭くなり、最も急な階段は角度が61度もあります！階段の上り下りには、注意が必要です。



© Musée départemental Albert-Kahn, Département des Hauts-de-Seine
Matsumoto, Japon, Le donjon médiéval vu depuis le nord-est du château, A56229XS



この他に、地球映像資料館には、広島県の宮島にある厳島神社の大鳥居（写真左下）（[現在の鳥居](#)）、日光東照宮の陽明門（写真中央下）や奈良の法隆寺の五重塔（写真右下）の写真もあります。今回例示した五つの文化遺産に共通するのは、いずれも19世紀末に日本で文化財の登録制度が誕生して早い時期に重要文化財に指定されており、清水寺本堂、松本城天守、日光の東照宮陽明門と法隆寺五重塔は、重要文化財の中でも特に価値が高いとされる国宝に指定されています。100年前からすでに文化的価値が認められていた歴史遺産は、後世に受け継ぐべく維持管理がなされ、変わらぬ姿で現在まで伝えられています。



© Musée départemental Albert-Kahn, Département des Hauts-de-Seine
Miyajima, Japon, Le torii marin de Itsukushima-jinja (vue rapprochée), A56415



© Musée départemental Albert-Kahn, Département des Hauts-de-Seine
Nikkō, Japon, Sanctuaire Tōshōgū : La Yōmeimon (ou Higurashimon), A56056S



© Musée départemental Albert-Kahn, Département des Hauts-de-Seine
Ikasaga, empires de Nara, Japon, Temple Hōryū-ji : la pagode (Gōjū-no-tō - pagode à cinq étages), A56097X